

安全データシート

作成 2021年05月31日

1. 製品及び会社情報

製品名 : Lysis Solution 20S (ISOIL)
 製品コード : 315-09101
 会社名 : 株式会社ニッポンジーン
 住所 : 富山県富山市間屋町 2-7-18
 電話番号 : 076-451-6548
 FAX 番号 : 076-451-6547

2. 危険有害性の要約

Lysis Solution 20S (ドデシル硫酸ナトリウム) について記載

GHS 分類 : 急性毒性(経皮) : 区分 3
 皮膚腐食性・刺激性 : 区分 2
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 1
 特定標的臓器毒性・単回ばく露 : 区分 1 (中枢神経系)
 特定標的臓器毒性・反復ばく露 : 区分 2 (肝臓)
 水生環境急性有害性 : 区分 2

GHS ラベル要素

注意喚起語



危険

危険有害性情報

: H312 皮膚に接触すると有害
 H315 皮膚刺激
 H318 重篤な眼の損傷
 H370 中枢神経系の障害
 H373 長期にわたる、または、反復ばく露により肝臓の障害のおそれ
 H401 水生生物に毒性

注意書き 【安全対策】

P260 粉塵またはミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 P264 取扱後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
 P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 P273 環境への放出を避けること。

【応急措置】

P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 P310 眼に入った場合：直ちに医師に連絡すること。
 P312 皮膚に付着した場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
 P308+P311 ばく露又は、ばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
 P362+P364 汚染された衣類を脱ぐこと、再使用する場合には洗濯すること。
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

【保管】

P405 施錠して保管すること。

【廃棄】

P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物 : 混合物

化学名又は一般名	濃度	化学式	CAS 番号	危険有害成分
ドデシル硫酸ナトリウム	≦20%(w/v)	C12H25SO4Na	151-21-3	ドデシル硫酸ナトリウム
Trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 直ちに全ての汚染された衣類を脱ぐこと。多量の水かシャワーで皮膚を洗い流すこと。医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
目に入った場合	: 水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。直ちに医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	: 速やかに口をすすぎ、医師の診断を受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	
急性症状	
吸入	: 咽頭痛、咳
皮膚	: 発赤
眼	: 発赤、痛み
経口摂取	: 吐き気、嘔吐、下痢
最も重要な徴候症状	: 皮膚炎を引き起こすことがある。

5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、水噴霧
使ってはならない消火剤	: 特になし
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていない時は破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 密閉された場所に入る前に換気する。
環境に対する注意事項	: 環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法・機材	: 飛散したものをかき集め、密閉できる空容器に回収し、あとで廃棄処理する。こぼした場所を完全に拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱注意事項	: 眼、皮膚との接触を避けること。飲み込みを避けること。ガスを吸入しないこと。 適切な保護具を着用する。 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。 環境への放出を避けること。
接触回避	: 「10. 安定性及び反応性」に記載
保管	
適切な保管条件	: 室温で保管する。
技術的対策	: 特になし
混触禁止物質	: 「10. 安定性及び反応性」の項を参照

安全な容器包装材料 : ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	
ACGIH(TLV)	: データなし
日本産業衛生学会	: データなし
設備対策	: 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 適切な保護手袋
目の保護具	: 適切な保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護作業衣, 保護靴

9. 物理的及び化学的性質

外観 (物理的状態、形状、色など)	: 無色澄明な液体
臭い	: 無臭
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
燃焼又は爆発範囲(上限・下限)	: データなし
引火点	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水と混合する
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	: 燃焼すると分解し、一酸化炭素や硫酸化物を含む有毒で腐食性のガスを生じる。 強酸化剤や強酸と反応する。
避けるべき条件	: 日光、熱
混触禁止物質	: 強酸化剤や強酸
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素やイオウ酸化物を含む有毒で腐食性のガス

11. 有害性情報

Lysis Solution 20S (ドデシル硫酸ナトリウム) について記載

急性毒性	: 経口 ラット LD ₅₀ > 5000mg/kg 含有量 ≤ 20%	区分に該当しない
	: 経皮 ウサギ LD ₅₀ = 1000mg/kg 含有量 ≤ 20%	区分 3
	: 吸入 データなし	
皮膚腐食性・刺激性	: ウサギ 「皮膚刺激」	区分 2
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: ウサギ 「非可逆的な症状の観察」	区分 1
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: 呼吸器感受性 : データなし	
	: 皮膚感受性 : モルモット Maximization 試験 : 陰性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	: 生殖細胞 in vivo 変異原性試験 小核試験 : 陰性	区分に該当しない
発がん性	: データなし	

生殖毒性	: ヒトの生殖影響に関する情報はない。	区分に該当しない
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: 下痢、自発運動低下、努力呼吸、呼吸数減少、昏睡、振戦、強直間代性痙攣、呼吸困難が認められた。	区分 1 (中枢神経系)
特定標的臓器毒性・反復ばく露	: ALT 及びアルカリホスファターゼ活性の増加がみられ、肝臓では肝細胞のわずかな肥大、分裂細胞の増加がみとめられた。	区分 2 (肝臓)
誤えん有害性	: データなし	

12. 環境影響情報

Lysis Solution 20S (ドデシル硫酸ナトリウム) について記載

生態毒性	: 甲殻類(アカルチア) 含有量 20%	EC50/LC50=0.12mg/L /96H	水生環境急性有害性: 区分 2
残留性・分解性	: 急速分解性が有り (85.0% by BOD、99.3% by TOC)		
生体蓄積性	: 甲殻類 (ネコゼミジンコ) NOEC = 0.88 mg/L		水生環境慢性有害性: 区分外
土壌中の移動性	: データなし		
オゾン層への有害性	: データなし		

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当なし		
海洋汚染物質	: 非該当		
国際規制			
陸上規制情報	: ADR/RID	規制されていない	
海上規制情報	: IMO	規制されていない	
航空規制情報	: ICAO/IATA	規制されていない	
国内規制			
陸上規制情報	: 規制なし		
海上規制情報	: 非危険物		
航空規制情報	: 非危険物		
特別な安全対策	: 運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。		

15. 適用法令

ドデシル硫酸ナトリウムについて記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法 (化管法)	: 第一種指定化学物質 No.275

16. その他の情報

引用	NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP) http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop 原料試薬供給先から提供された SDS 等
----	---

-
- * 本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。
 - * 新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。
 - * 記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
 - * 特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください